

## 別記

## 第1号様式

食品ビジネスまるごと応援事業  
事業化プラン

事業者名	株式会社高知家		
代表者の役職及び氏名	代表取締役社長 高知 太郎		
住 所	高知市丸ノ内1丁目2-20		
TEL	〇〇〇-■■■■-△△△△	Fax	〇〇〇-■■■■-△△△〇
E-mail	~@×××		
主たる業種	菓子製造・販売業	主力商品	〇◇〇◇、〇◆〇◆
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売…〇〇スーパー、△△百貨店、■■ショッピングセンター</li> <li>・卸会社…▲▲食品、□□物産、◇◇商事</li> </ul>		
従業員数	20人 (内、正社員11人、パート9人)	資本金	〇〇〇〇千円
		創業年月	〇〇年△月
		業歴	〇〇年(現在地:〇〇年)

## 1. 企業概要

## (1) 事業の沿革、現状

先々代(現代表の祖父)が東京の洋菓子店で職人として勤務後、当地に帰郷し、菓子店を創業。創業当初よりドーナツやマドレーヌ等の洋菓子商品を製造し、直営店1店舗で販売している他、県内外の量販店、百貨店等15社・30店舗に卸販売を行っており、現在10商品を製造しています。また、県外菓子メーカー1社からのOEMを受託しており、PB商品5商品を委託製造しています。

## (2) 経営理念、方針

消費者に安心・安全な商品をお届けすることモットーに、極力添加物を使用しない商品づくりを行ってきました。引き続き、安心・安全な商品づくりを徹底するとともに、高知県産食材を使用するなど独自性を高めた商品づくりを追求していきたいと考えています。

## (3) 主要課題

高知県の老舗菓子メーカーとして、高知県内の量販店を中心に販売を続けてきており、現在、県内と県外の売上割合が、9:1と県内売り上げが圧倒的に多い状況にあります。現在、県内人口が減少傾向にあり、売り上げ自体も減少傾向にあるため、今後県外及び国外での販路を拡げていく必要があると感じています。

## (4) 直近の売上上位3商品の状況

単位：千円

	商品名	売上高	(構成比)	純利益額	(利益率)	主な取引先
1	○◇○◇	73,500	35%	29,400	40%	・小売…○○スーパー、△△百貨店 ・卸…▲▲食品、□□物産
2	○◆○◆	42,000	20%	23,100	55%	・小売…○○スーパー ・卸…▲▲食品、□□物産
3	○□○□	31,500	15%	7,875	25%	・小売…■●ショッピングセンター ・卸…◇◇商事

2. 自社の環境分析

## (1) 市場の動向、競合他社の状況等

## 【市場の動向】

菓子の現在の販売市場は、浮き沈みが激しい状態にあるとともに、各地域の独自性を強調した商品が好まれる傾向にあります。人口減により地方での市場規模は縮小傾向にありますが、都市部での規模は、いまだ拡大傾向にあり、市場ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる企業、商品が成長できる市場と考えています。

## 【競合他社の状況】

現在、弊社商品と類似する商品は、全国に多々あります。(ex.C社：「△△○○」商品シリーズ)

## (2) 内部環境（強みと機会）

※自社にとってプラスになる要素を記入してください。

## 【強み】

- ・老舗メーカーのため、県内認知度が高い
- ・県内で初めて、衛生管理基準 ISO22000 を取得
- ・20～30代従業員が多い
- ・添加物を極力使用しない商品づくり
- ・県産原材料の比率を高める商品づくり

## 【機会】

- ・消費者の健康意識の高まり
- ・大手メーカーのシェア率低下
- ・展示会の出展拡大
- ・海外での日本食の高まり

3. 事業目標の設定について

## (1) 事業の方向性

県外へ販路を広げていくために、まずは高知県産の原材料にこだわった「高知らしさ」を全面的に押し出すとともに、添加物を極力使用しない安心・安全な商品づくりを行い、大手メーカーにはない商品づくりを目指しています。

## (2) 着地点 (3年後) の目標

※できるだけ具体的に3年後のありたい姿を記入してください。

- ・年間取引量が拡大した上で、県内：県外の売上比率を6：4にすること
- ・添加物を使わず、県産原料を使用した商品を新たに5品商品化すること
- ・FSSC22000 認証取得
- ・年間の商品クレーム0件を目指す
- ・従業員5名増
- ・製造機器導入による製造量2割増

## (3) 具体的活動計画

※必要に応じて、書式を変更して記入して下さい。

	目 標		活動計画			
	現状	3年後	当 期	1 年目 (32 年度)	2 年目 (33 年度)	3 年目 (34 年度)
1 商品力 例) 改良、開発 原材料確保 担当：四万十 花子	10 商品製造・販売	新たに5品商品化	商品「○○○○」 のパッケージ改良	新商品1商品の開 発	新商品1商品の開 発	新商品3商品の開 発
2 生産体制 例) 製造能力、人 員、設備 担当：高知 太郎	従業員20名	・従業員5名増 ・製造量2割増	・真空包装機導入 ・製造工程表作成	従業員2名増員		従業員3名増員
3 衛生管理 担当：高知 次郎	県版 HACCP (第2 ステージ) 認証取得	FSSC22000 取得	県版 HACCP (第3 ステージ) 認証取得			FSSC22000 認 証 取得
4 販売力 担当：四万十 花子	・15社30店舗卸販 売、直営店1店舗 で販売 ・県内：県外=9： 1	・取引量拡大 ・県内：県外=6： 4	県外新規スポット 販売3社	・県外新規スポッ ト販売3社 ・定番採用2社	・県外新規スポッ ト販売5社 ・定番採用2社	・県外新規スポッ ト販売10社 ・定番採用4社
5 その他 担当：高知 次郎	社内でクレーム対 応研修実施 (月1 回)	・商品クレーム0 件 ・自主検査体制確 立	品質管理向上勉強 会受講	品質管理向上勉強 会受講	品質管理向上勉強 会受講	品質管理向上勉強 会受講

## (4) 売り上げ目標

P/L	前々期 (30年3月期)	前期 (31年3月期)	当期(見込み) (32年3月期)	1年目 (33年3月期)	2年目 (34年3月期)	3年目 (35年3月期)
①売上高	220,000千円	210,000千円	210,000千円	225,000千円	235,000千円	240,000千円
②製造原価	88,000千円	84,000千円	84,000千円	78,750千円	82,250千円	72,000千円
③売上純利益	132,000千円	126,000千円	126,000千円	146,250千円	152,750千円	168,000千円
④販管費	82,000千円	84,000千円	84,000千円	90,000千円	92,000千円	95,000千円
⑤営業利益	50,000千円	42,000千円	42,000千円	56,250千円	60,750千円	73,000千円

## 4. サポートチームの体制 (※県のサポートチーム担当者が記入)

## (1) サポートメンバー

- ・ ○○商工会議所
- ・ ■■センター
- ・ □□協会
- ・ ◇◇公社
- ・ △△課

## (2) サポート内容

項目	時期	内容	担当機関・部署
全体マネジメント	随時	経営相談、事業計画見直し、補助金活用等	○○商工会議所
商品力	H31～H33	原材料の見直し、試作	■■センター
		商品パッケージ制作(補助金)	△△課
生産体制	H31	真空包装機導入(補助金)	△△課
衛生管理	H31.10～	高知県版 HACCP 第3ステージ取得 FSSC22000 認証取得	□□協会 △△課
販売力	随時	展示商談会の仲介・斡旋	◇◇公社
その他	H31.10～	品質管理向上勉強会受講	■■センター △△課